



戦争を経験した橋

- 1 原爆を経験した橋
- 2 復興に寄与した橋
- 3 戦争へ突入することになった橋
- 4 戦争を支える橋 軍橋
- 5 退路を断つ橋、くい止める橋
- 6 翻弄される市民の橋
- 7 冷戦時代の橋
- 8 民族紛争の橋
- 9 橋に残る戦争の傷跡
- 10 橋を破壊する兵器
- 11 爆撃に耐えた橋
- 12 原爆による橋の被害 相生橋
- 13 被爆橋の意味するところ





栄橋

明治39年熊谷栄次郎が木橋を架橋、昭和5年架替え
RC3径間+2径間+3径間連続T桁橋



観光橋

昭和12年 RC単純T桁橋



荒神橋

昭和14年 RC5径間ゲルバーT桁橋



比治山橋

昭和14年 RC7径間ゲルバーT桁橋







5 退路を断つ橋、くい止める橋-2



唯一破壊されずに残っていたライン川を渡れる橋だったためドイツ軍とアメリカ軍の間で激しい争奪戦が行われた。爆破に失敗し、連合軍の進行をくい止められなかった4人のドイツ将校は軍法会議で即座に処刑された。



5 退路を断つ橋、くい止める橋-3

第二次世界大戦中の1943年、ドイツ軍+ユーゴ民族軍と、英国、アメリカの支援を得たユーゴ・パルチザン(共産党)がネレトヴァで戦う。これを統率したのが後のユーゴスラビアのチトー大統領

現在のボスニアヘルツェゴビナ



退路を断ち自ら爆破：ネレトヴァ橋

6 翻弄される市民の橋-1



ヴァルトシュレスヒェン橋



6 翻弄される市民の橋-2



7 冷戦時代の橋



8 民族紛争の橋



9 橋に残る戦争の傷跡





11 爆撃に耐えた橋

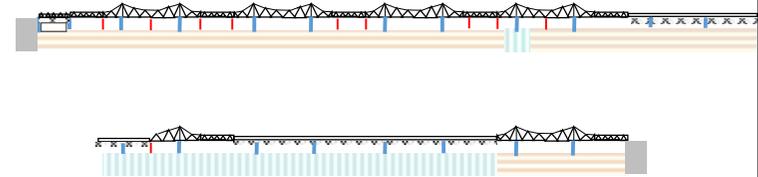


ベトナム ロンビエン橋

ロンビエン橋は、フランス植民地時代の1898年から1902年にかけて建設された首都ハノイのホン川に架かる鉄道橋。

ベトナム戦争時は、補給路を断つため何度も爆撃されたが、その度に修復が行われ、現在も鉄道、人道橋として重要な役目を担っている。

現在のロンビエン橋の状況推定図



1902年建設 橋長1632m

当初は19径間 ワーレントラス橋

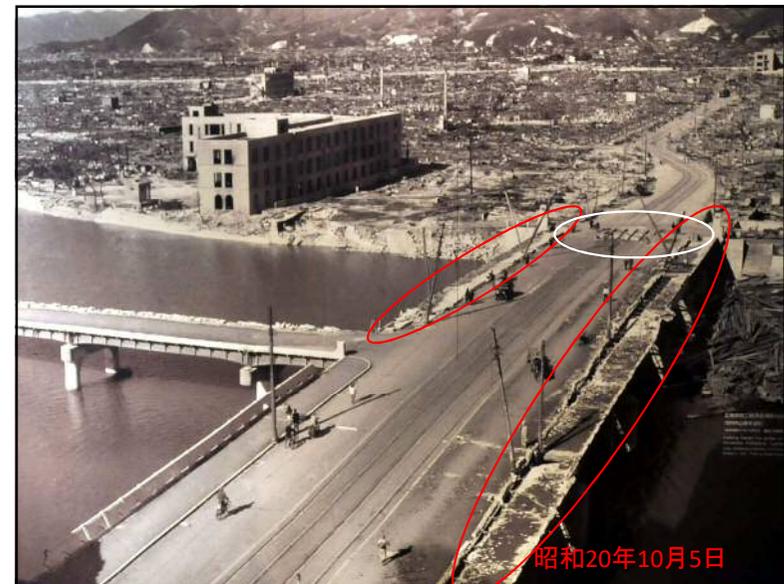
赤線は後から設置した追加橋脚、下波線は補強トラス

12 原爆による橋の被害 相生橋



旧相生橋は、1932年(昭和7年)に鋼鈹桁の道路・軌道併用橋として架けられ、原爆で被害を受けた後も仮補修され供用されていた。

現在の橋は1983年に架け直されたもの。



昭和20年10月5日

